

介護老人保健施設(入所サービス)における 新型コロナウイルス感染症のクラスター発生状況

※ 2020年3月28日～2021年5月15日の発症事例で、全国老人保健施設協会が捕捉したうち、
 入所者で5名以上の陽性確認があった 63例の集計
 ※ 全国老人保健施設協会の会員施設 3,580施設(2021年5月末日現在)

入所者 5名以上の陽性が確認された施設: 63施設 (定床数計 7,135床)

陽性が確認された入所利用者(含・短期入所)	2,012人 (陽性率28.2%)
うち、医療機関に入院となった者	1,241人 (入院率61.7%)

陽性が確認された入所利用者(含・短期入所)のうち、	
施設にて死亡	54人
病院にて死亡	196人
計	250人 (死亡率12.4%)



ROKENくん

老健施設における新型コロナウイルス感染症に対する対応

- **入院ができず施設内に留め置かれた場合**
 感染防御体制の確認を条件に、地域医療介護確保総合確保基金のかかり増し費用のメニューに追加された。(1名につき15万円)
- **老健施設における医療に要する費用に係る特例的な対応**
 緊急往診加算、在宅酸素療法指導管理料、院内トリアージ実施料が診療報酬にて請求可能になった。
- **医療提供体制の逼迫に備え**
 退院基準を満たす新型コロナウイルス感染症患者の受け入れとして、500単位/日(30日を上限)が認められた。
- **上記受け入れ施設(1,703施設・47.3%)の公表**

認知症の感染者の治療を行う上での新たな課題

- 感染時・急変時のACPの未確認
- 歩行可能な認知症高齢者に対する行動制限の課題
 原則、拘束が禁止されている介護保険施設と、受け入れる医療機関の双方の課題
- 継続したリハビリテーションの実施